

地域おこしのプロフェッショナル 仕事の流儀

vol.7 中札内村 梶山 智大 さん



~PROFILE~

中札内村 梶山 智大 さん

出身：静岡県

前職：鉄道会社でリニア車両設計開発

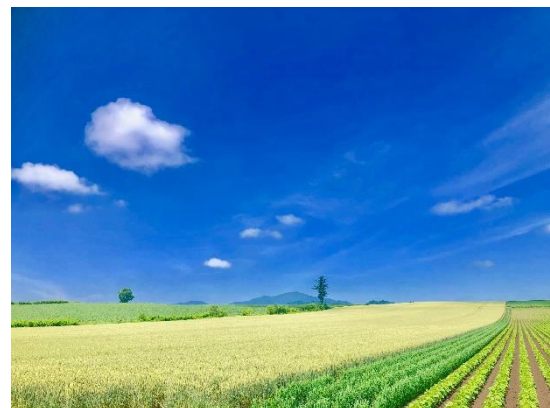
趣味：海外旅行、登山、キャンプ

1 地域おこし協力隊になったきっかけは？

前職を辞める1、2年前に5年後・10年後、そのまた先を考えた時に、ある程度自分の立ち位置が見えてきて、それに対してワクワクしていない自分がいることに気づいたのが、最初のきっかけです。

自分自身を見つめ直した中で、本当にやりたいと思う仕事を好きな場所で作っていきたいと思いました。小学生の頃に3年間、道北の士別市に住んでいたことがあり、いつか北海道に行きたいという思いをずっと持っていて、その中でも特に道東が良いと思っていました。

北海道に住む、ということであれば転職とかたちでも良かったのかもしれませんが、**自分がその後やりたいと思えることにつながるような仕事をしたいということと、地域にしっかりと定着できるような、地域の人と関わりを持てるような仕事の方が面白そうだな**と色々探して、それに合致したのが中札内村の地域おこし協力隊でした。



▲初夏の中札内村の畑と空。ジャガイモの花や小麦、広がる空と日高山脈の風景。どこを切り取っても素敵な写真が取れるのも中札内村の良さです。

2 日々の活動内容や活動を通じて感じていることを教えてください。

着任して、役場ではできないこと、今までの観光協会ではできなかったことを見つけ、やって欲しいと最初に村から言われました。

観光振興プロデューサーという職名上、何かを生み出すことを念頭に、活動を開始しました。いい物、いい場所があっても知らなければ誰も辿り着けません。この村にあるたくさんのいいものをもっと多くの人に知ってもらい足を運んでもらうため、SNSでの情報発信にまず着手しました。また、札幌や東京の旅行会社や旅行雑誌社へ直接足を運び、中札内村の魅力を積極的に伝える営業活動を行いました。中札内村への興味、関心を抱いてもらうためにも、**新鮮さや特別感のあるイベントを作り出すことが効果的だと思いました。**

着任して最初に行ったイベントは、2000本ものエゾヤマザクラが咲く桜六花公園での桜祭り「中札内村～桜のある休日～」(2019年5月)で、3日間で5,000人の集客へと繋げることができました。

中札内村には、花と緑とアートの村というキャッチコピーがあり、冬は何もないという住民の声をヒントに、着任してすぐにスノーアートを始めることを決意し2020年オリンピックイヤーにイベントにしたいという企画を打ち出しました。最初に航空会社へ飛行機から見えるスノーアートの構想を持ち込み、そこからの紹介を通じて、十勝総合振興局局長にプレゼンさせていただく機会を得ました。2019年2月に初めてスノーアートを一人で完成させ、地元新聞の1面に掲載していただいて話題となり、2020年のイベント開催につながりました。

スノーアートを全国放送のテレビ番組でも紹介していただきましたが、北海道にはこんな村があると知ってもらうこと、そしてそれを継続して、実際に足を運んでもらうという流れが大切だと思っています。**一過性で終わらせない、文化として定着させることを意識し、観光振興を通じて村の発展に寄与できればと、思いつく限り色々やらせていただけたという感じです。**



▲2020年のスノーアートヴィレッジなかさつない。イベントにご協力いただいたJA青年部、出店者の皆さんとの一枚。

3 今後の展望・目標について教えてください。

隊員としての仕事は2021年3月で終わりますが、中札内村に住み続けますし、中札内村で事業をやっていくので、村に貢献できることを継続していきたいと思っています。

株式会社 AOILO を2020年12月に設立し、4月から本格的に稼働していきます。キャンプ事業、キッチンカー事業、ワイン販売事業の主に3つを行っていきます。キャンプ事業に関しては、札内川園地という村の施設を指定管理させていただくことになりましたので、そこにしっかりとお客様を集めていくことが一定の目標となります。日高山脈の麓、札内川沿いに広がる自然豊かな行楽地として賑わいをもたらせたいです。そのためにも、園地の魅力を一段と上げていくことが必要であると考え、飲食業にもチャレンジします。園地を拠点とするキッチンカーで、十勝産の食材を活かしたメニューとしてローストチキンのほか、手軽に食べられるメニューを準備中です。また、妻が以前、輸入商社に勤めていたこともあり、フランスやイタリアなどのワインの販売も行います。

札内川園地キャンプを営業しない冬季は、スノーアートのほか、いくつかイベント等の企画・運営・宣伝などの請負もやっていこうと思っています。

1年中、楽しいことにチャレンジし続けたいです。



▲2021年のスノーアート作品【花・Crystal】輝く明るい未来への祈りを込めて制作。自らの感覚だけを頼りに4万歩を一人で歩きました。